

## 看護倫理ルーブリック導入による教育効果の検討

### 看護職員の皆様へのお願い

看護職が専門職としてより質の高い看護を提供するためには、深い知識と確実な看護技術だけでなく、高い倫理性が必要とされています。私たちは、臨床看護師を対象としたよりよい看護倫理教育を目指して、教育プログラムの構築や教育効果の検討に取り組んでいます。これらの研究への参加は、皆さまの自由意思によりますが、看護倫理教育の改善に向け、ご協力頂きますようよろしくお願いいたします。

なお、研究実施にあたり、京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

### 研究情報の公開（オプトアウト）

通常、臨床研究を行う際は、研究対象者となる方へ文書もしくは口頭での説明を行い同意を頂きます。しかし、侵襲や介入を伴わない研究等については、国が定めた指針に基づき、対象者一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究の目的を含めた研究実施についての情報を公開し、皆さまが拒否できる機会を保障することが必要とされております。このような手法を「オプトアウト」と言います。

下記の研究は、この「オプトアウト」を用いて実施したいと考えております。これらの研究への協力を希望されない方は、文書内に記載されている連絡先までお知らせください。

### 研究の目的

本研究の目的は、看護倫理研修の学習評価基準として「看護倫理ルーブリック」を導入することで、その教育効果を検討することです。

### 研究方法

研究期間：医学倫理審査委員会承認後から 2024 年 3 月 31 日

研究対象者：自己評価者 本院で看護倫理研修を受講する看護職員

他者評価者 本院で看護倫理研修を受講する看護職員の所属する部署の  
看護師長もしくは看護副師長

研究に用いる情報：受講した看護倫理研修、看護師経験年数、研修前後の看護倫理ルーブリックの自己評価点、研修後の看護倫理ルーブリックの他者評価点

個人情報の取り扱い：研究対象者の看護倫理ルーブリックの点数は、氏名や経験年数など研究対象者を直ちに特定できる情報は削除し、研究用の番号を付けて取り扱います。研究対象者と研究用の番号を結びつける対応表は、インターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、入室が管理されており、第3者が立ち入ることができません。

また、この研究成果を発表する場合にも、研究対象者が特定されることはありません。なお、この研究で得られた情報は研究責任者（京都府立医科大学附属病院・看護師・辻尾有利子）の責任の下、厳重な管理を行い、情報が漏洩しないようプライバシーの保護に細心の注意をいたします。

#### 試料・情報の保管及び廃棄

本研究において得られた情報は、研究終了報告日から5年、又は研究結果の最終公表日から3年、又は論文等の発表から10年のいずれか遅い日まで、研究責任者辻尾有利子の下、入退室管理がされた施設可能な場所において適切に保存し、その後は個人情報に十分注意して廃棄いたします。また、解析のために収集された匿名化データは二次研究（メタアナリシスなど）に利用する可能性があるため、上記の保管期間を超えて適切に保管し、将来、研究に用いる場合は改めて京都府立医科大学医学倫理審査委員会において承認を受けた後に使用いたします。

#### 研究の実施体制

研究責任者： 京都府立医科大学附属病院・看護部・看護師・辻尾有利子  
研究担当者： 京都府立医科大学附属病院・看護部・看護師・安田美緒  
京都府立医科大学附属病院・看護部・看護師・服部美景  
京都府立医科大学附属病院・看護部・看護師・吉岡とも子  
京都府立医科大学附属病院・看護部・副看護部長・中村尚美  
京都府立医科大学医学部看護学科・教授・吾妻知美

#### お問い合わせ先

研究対象者のご希望があれば、参加して下さった方々の個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができますので、希望される場合はお申し出下さい。

また、本研究に研究対象者の情報を用いることを、ご了承いただけない場合には、お手数をおかけしますが、2020年3月31日までに、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、研究対象者に不利益が生じることはありません。

京都府立医科大学附属病院 看護部  
辻尾有利子・中村尚美  
TEL : 075-251-5111 (代)